

児童の博物館活用の意義

後援会員 株式会社 文溪堂

代表取締役社長 水谷 泰三



私も文溪堂は、一九〇〇年（明治

三十三年）岐阜県海津郡（現海津市）

平田町の本屋からスタートし、百二十

年以上の年月を経て、岐阜県羽島市に

本社を置く、総合教材会社となりました。

「二十一世紀の人づくりを通じて

社会に貢献する教育と文化の創造企業

をめざそう」という企業理念を掲げ、

時代の変化を的確に捉え、学校現場に、

様々な有益適切な図書教材や教材教具

を提供し続けてきました。

そんな当社が関わっている日本の学

校教育は、「教育基本法」の第一条に

あるように、人格の形成を目的として

います。その「教育基本法」の第一章

第三条には、「生涯学習の理念」として、

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、

豊かな人生を送ることができるよう、

その生涯にわたって、あらゆる機会に、

あらゆる場所において学習することが

でき、その成果を適切に生かすこと

ができる社会の実現が図られなければ

ならない。」とあります。この「生涯学

習の理念」と児童の博物館の活用は、

密接に関係していると考えられます。

例えば、小学校の各教科で教える内

容や、授業時数などを示した「学習指

導要領」の社会科には、次のような内

容が示されています。

「博物館や資料館などの施設の活用を

図るとともに、身近な地域及び国土の

遺跡や文化財などについての調査活動

を取り入れるようにすること。また、

内容に関わる専門家や関係者、関係の

諸機関との連携を図るようにすること」

これは、社会科の学習の際に、地域

にある博物館やその他の施設の積極的

な活用を図るとともに、身近な地域、

あるいは国土の遺跡や文化財などの観

察や調査活動を、取り入れるように留

意することを示したものです。

各地域には、社会科の学習に活用で

きる様々な博物館があります。博物館

を積極的に活用することは、児童の学

習意欲や学習効果を高める上で大変重

要なことであると思います。児童が博

物館で、視覚や触覚、聴覚を通して実

物資料や展示物などに触れることで、

より良い深い感動を味わうことができ、

新たな学びにつながることもできるか

らです。また、博物館は大人になつて

からも、各々の興味や関心に応じて利

用できる施設であり、児童のこのよう

な経験は、「生涯学習の基盤」となる

ものであると思います。

博物館で行われる観察や調査活動は、

どれも体験的な学習として捉えられま

す。児童が「生涯学習の基盤」として

博物館を活用し、歴史や生活、文化、

さらに自然など、具体的な事物に接す

ることにより、知的好奇心を高め、学

びを深めることができ、生涯にわたつ

て主体的に学び続ける力の育成に寄与

します。

つまり、児童にとって、博物館は、

歴史を振り返り、改めて自分たちの生

活や文化、自然に目を向け、自分たち

の未来を創造していく「学びの場」と

いえるのではないのでしょうか。

参考・引用文献

「小学校学習指導要領解説社会科編」(東洋館出版)

岐阜県博物館・歴史資料館・図書館連携企画展

「今 よみがえる近世の庄屋 ～花村家のくらしをたどる～」について

岐阜県博物館 学芸部 長野 宜延

令和4年1月22日(土)から、岐阜県図書館2階企画展示室2において、「今よみがえる近世の庄屋 ～ 花村家のくらしをたどる～」が開催中です。

花村家は美濃国羽栗郡本郷村(現羽島市福寿町本郷)に所在した旧家です。当代になって他県に転出されましたが、幸い、同家に伝わった文書や道具類は大切に保管され、そのうち文書群は岐阜県歴史資料館に寄贈・寄託されています。

花村家は、江戸時代中期より代々にわたって庄屋を務めており、本郷村の開発百姓として村の中心的存在でした。百姓でありながら、御目見得や帯刀を許可されるほど有力な百姓だった花村家が用いた生活道具の中には、廃絶した仏事用具や優れた陶磁器などを含みます。

例えば、当時の武家がもっていた家紋入りの陣笠、陣羽織、袴や、直径50センチもの大きさの大皿、鮮やかな絵が描かれた茶碗、花瓶など生活道具があります。

他にも、仏行事の際に提供された膳一式、獅子や麒麟など精巧に形どられた香炉などの仏事用具も展示しています。

そんな道具類や花村家に関する記録史料の一部の展示を通して、本郷村における功績や暮らしぶりをふり返るとともに、近世のむらの庄屋の生活の一端を紹介します。

この展示は、3月6日(日)まで開催中です。県図書館にお越しの際は、2階の企画展示室まで足を延ばしてみてはいかがでしょうか。

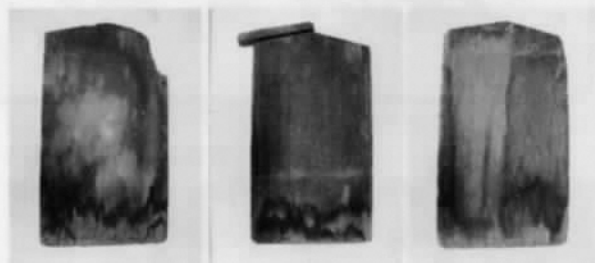


▲香炉(獅子型)

資料紹介

「羽柴秀長禁制札・徳川家康禁制札」

岐阜県博物館 学芸部 安藤 均



▲羽柴秀長禁制札(左2点)・徳川家康禁制札(右1点)

この3点の制札は、今年度当館が西順寺(北方町)より寄贈を受けたものです。西順寺には元禄10年(1697)に設置された、通称「時の太鼓」(町重要有形民俗文化財)があり、その太鼓櫓に掛けて保管されていました。

羽柴秀長様制札2点はいずれも同内容で天正12年(1584)9月12日付、徳川家康禁制札は慶長5年(1600)9月23日付です。法量はいずれも縦75センチ程度×横45センチ程度×厚さ3センチ程度です。

禁制とは、掟や禁令を告知するために作られた文書の形式の一つです。特に戦いの直前や最中に多く発給されました。一般的には、受給者側が礼銭を供出して、禁制の下付を受けることで、侵攻軍の兵士による乱暴狼藉・略奪・放火を抑止する役割を果たしていたと理解されています。禁制自体は紙の文書の形式で出されますが、板に掲げられることが前提となっているので、紙の文書を書写して制札が作成されました。実際に羽柴秀長禁制は紙の文書が岐阜県歴史資料館に所蔵されています。いずれもほぼ同じ法量であることから、西順寺で共通の様式として用いられたと考えられます。

いずれも風化が激しく、肉眼で辛うじて墨痕を読み取ることができる程度のものです。しかしその風化具合から、これらの資料が戦国時代に実際に掲げられて、人々の目に留まっていたことが窺えます。また、戦時に出された制札がもたらす効果は一時的で、安寧が訪れるとその役割を終えて消失してしまうことも少なくありません。それゆえに、3点もの制札が現存しているという点で非常に価値の高い史料であると言えます。

研究紹介

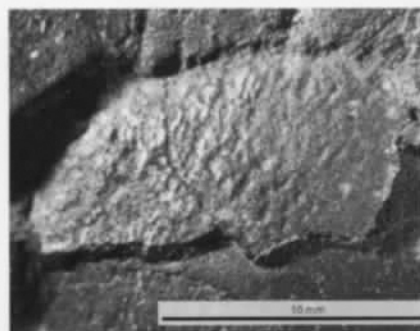
「日本最古の恐竜卵殻化石」

岐阜県博物館 学芸部 高津 翔平

令和3年7月3日、日本古生物学会年会において岐阜県博物館と筑波大学などは日本最古の恐竜卵殻化石に関する発表を行いました。岐阜県高山市荘川町に分布する手取層群大黒谷層(前期白亜紀:約1億3000万年前)から見つかった卵殻化石を調査したところ、カメ類と非鳥類型獣脚類恐竜類の卵殻であることが判明したためです。

卵殻化石から作成した剥片写真の観察結果から、荘川産の恐竜類の卵殻化石は卵化石の分類で言うと、プリズマトウリートゥス卵科に分類されます。プリズマトウリートゥス卵科は北米での胚化石の発見から、トロオドン科獣脚類またはその近縁グループの卵であることが分かっています。トロオドン科の可能性のある卵殻の報告は兵庫県に続き国内2例目です。特にトロオドン科の可能性のある骨化石は手取層群からはまだ見つかっていないため、本研究がその存在の可能性を示す初めての報告となります。

卵殻化石の見つかった手取層群大黒谷層は、近年の年代測定の報告から約1億2900万年～1億3300万年前という年代値が得られています。この年代値は現在知られている国内の恐竜卵殻化石の産地の中では最も古く、荘川の標本は日本最古の恐竜卵殻化石となりました。



▲プリズマトウリートゥス卵科(撮影:植松里菜)



▲トロオドン科恐竜の復元画(画:小田 隆)

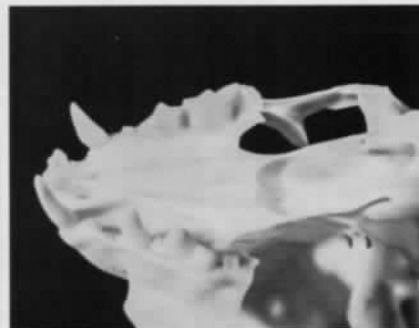
岐阜県博物館・岐阜大学連携企画展【予告】

「蔵出し! 骨のあるやつ」(1)

岐阜県博物館 学芸部 説田 健一

「骨」という言葉から、みなさんはどのようなものを想像するでしょうか。海賊旗やタロットに描かれた骸骨マークのような死をイメージさせる不気味なものでしょうか。それとも、手羽先や骨付きカルビを食べた後、皿に積まれた食べ残しのようなものでしょうか。少数派かもしれませんが、最近では、動物の骨を美しい写真で紹介する書籍もあるので、骨は美しいというイメージを持たれる方もいるかもしれません。

令和4年度第1回の企画展では、岐阜県博物館と岐阜大学などが所蔵する多数の動物の骨の標本を展示します。会期は二部構成で、前期が4月23日(土)から6月26日(日)、後期が6月28日(火)から8月28日(日)です。前期では、哺乳類や鳥類を中心に脊椎動物の頭骨を紹介します。脊椎動物の頭部には重要な器官が集中するため、頭骨の形は動物によって大きく異なり、大変興味深いです。ぜひ、それぞれの標本が醸し出す機能的な美しさや展示室に漂う不気味な雰囲気を楽しんでください。



▲イエネコの上あご(歯並びはライオンと同じ)

STPM

建築・建設・環境・マネジメント

昭和建物管理株式会社

ISO 9001
ISO 14001
ISO 27001

総務部・経理部・営業部
企画部・設計部・施工部
環境部・安全部・保健衛生部

昭和建物管理株式会社 岐阜支社
〒500-8501 岐阜市千鳥町1-8-15-311
TEL 058-271-1826

マイミュージアムギャラリー 第7回展示

「自分の可能性に向かって挑戦できる学校 岐阜城北高校の“魅力”」

岐阜県博物館 学芸部 加賀 隆志

令和3年度の第7回目は、岐阜県立岐阜城北高等学校による「自分の可能性に向かって挑戦できる学校岐阜城北高校の“魅力”」です。

岐阜城北高校は、金華山・岐阜城から北へ約7km進んだ、岐阜市郊外の緑の山々に囲まれた場所にあります。

校訓「至誠・進取・錬磨」のもと、全校生徒約650名が高い目標をもち、学科に関する資格取得やコンクールへの挑戦のほか、地域と連携した取組を行っています。また、部活動では硬式野球部をはじめ、各部が意欲的に活動し、魅力ある学校づくりに努めています。

今回は、総合学科、生活デザイン科における学習成果物(衣装、布絵本、研究レポート、芸術作品など)をはじめ、部活動、学校行事などの写真等を展示し、学校の魅力を紹介します。会期は2月5日(土)から2月27日(日)まで、会場は博物館マイミュージアム棟2階のマイミュージアムギャラリーです。



会員の声

岐阜県博物館と私

岐阜県博物館 友の会 幸脇 晴美

私は、若い時、岐阜県博物館に勤めていました。
展示解説をしていました。

博物館の展示に、日本最古(当時)の岩石「上麻生礫



岩中の片麻岩」があることに驚きました。

標高3190mの穂高～海拔0mの自然、太平洋側と日本海側の植物、西日本と東日本の植物がちょうど岐阜県の分布の境で貴重な植物であることを知りました。

▲当時の展示解説用に作った私のノートです 岐阜県博物館との出会いが岐阜のことをより一層知るきっかけとなりました。博物館を通じて一人でも 多くの人に岐阜の魅力を知ってもらいたいです。

先日、久しぶりに夫と岐阜県博物館を訪れました。驚いたことは、展示解説コーナーに学芸員アプリ「ポケット学芸員」があったことです。早速QRコードを読み取りアプリを入れました。展示の詳しいことがわかる優れものです。

家にもこのアプリを見れば博物館の展示を直接見ることができます。でもやはり詳しい展示は実際に博物館に行ってみてくださいね。

最後に、実は、夫と私が出会ったのは、この岐阜県博物館です。これが一番の収穫でしたでしょうか!!

国内旅行・海外旅行の予約申し込み

近畿日本ツーリスト株式会社 岐阜支店

旅行代理店登録番号 岐阜県知事 認定 岐阜県観光振興局 認定 岐阜県観光振興局 認定 岐阜県観光振興局 認定

● 岐阜支店 〒500-8533 岐阜市東大町1-1-1 TEL 058-265-0203

WEB 近畿日本ツーリスト

博物館学芸講座「岐阜と鹿児島」の絆 鶴丸城御楼門復元事業」を聴いて

岐阜県博物館 友の会 興 英樹

バーチャルな空間で、西郷隆盛が完成した御楼門を見て、「薩摩藩は宝暦治水では多くの犠牲者とともに多額の借財を抱えたが、こうして岐阜県民から幹回り3mもあるような大径木を寄贈してもらい、飛鳥時代から営々と受け継がれている宮大工の匠の技を駆使して完成させてくれたことに感謝感謝」と言っているのではないのでしょうか。去る11月13日、亀山義比古会長（友の会会長/亀山建設（株）会長）による学芸講座が行われました。

講演から、復元工事ゆえの難しい課題があったのがわかりました。

- ①史実に基づいた復元であること
- ②天守閣に代わる高さ約18m、幅20m、奥行き8m、総重量約320tの威風堂々たる御楼門の建造
- ③柱になる樺（ケヤキ）などは市場に出回る最大のもので、大木の加工・組み立てであること。しかも、樺は頑強な木材であるが、ひび割れを防ぐためにはふつう10年ほど自然乾燥するといわれるほど扱いが難しいこと
- ④工期はわずか2年9か月であること

超大径木ばかりの加工・組み立てなので、宮大工としての伝統的な技に、現代の科学技術を融合させながら取り組まれました。それは、

- ①大学や研究機関と相談しながら木の含水率をコントロールしてひび割れを防ぐ工夫
- ②凸凹している礎石の上に柱を立てるが、そのまま柱を乗せると屋根の重さに耐えかねてろくなる。それを防ぐために礎石の凸凹を3Dスキャン（計測器）で計測し、形状を合わせる

博物館に展示されていた柱の礎石に密着する凹凸の切り口はわずか3mmほどの間隔で切削されていました。頑強な樺とはいえ3mm間隔で削れる精巧な大型の機械があってこそ可能になったと推察します。

- ③組み立ては、柱を一本ずつ立てるのではなく、組み立て用の架台の上に寝かせてフレームを作り、

フレームごと立ち上げてつなぎ合わせて建て込みをしていくという工夫。柱の底部凹凸を傷めないため

- ④フレームを吊り上げるのに200tのクレーン車を使用したこと

工場で仮組み立てをして無事に設計通りに吊り上がったとき、会長さんは体が震えたといわれました。多くの神社仏閣を建設してこられたが、巨大なフレームを



組み立てていくという斬新な工法で、施行できると確信された瞬間だったのではないのでしょうか。

（写真は事前に工場内でフレームを吊り上げられた様子）

- ⑤宝暦年間に建て替え新築工事が行われた西本願寺阿彌陀堂との比較をし参考としたこと

講演を聞きながら、友の会の皆さんとH29年に近江八幡へ行き、信長の館を見学したのを思い出しました。織田信長が作った安土城の天守閣5・6階部分の復元工事をされたのも亀山建設さんでした。コロンブスがアメリカ大陸を発見してから500年目に開催された「スペイン・セビリア万国博覧会」の日本館のメイン展示でした。黄金色に輝く六角天守閣は印象的でした。

最後に、織田信長や薩摩藩の島津一族とその家臣団は、どちらの方々もそれぞれ時代を大きく切り開いていかれました。その人達にゆかりのある大きな復元工事をされてこられたことは大変名誉なことではないでしょうか。ありがとうございました。

岐阜県博物館からのお知らせ

○県博物館でのDXの推進

岐阜県博物館 学芸部 小島 剛太

最近、いろんなところで話題になっているDXという言葉をご存知でしょうか。DXは「デジタルトランスフォーメーション」の略で、その意味を調べると「デジタル技術によって人々の生活をより良いものへと変革すること」とされています。博物館では、デジタル技術の高度化により、リアルを見ることの機会や意欲が失われるのではないかと懸念があることも事実です。しかしながら、県博物館としては、リアルを経験したいと思う呼び水としてのデジタル技術の活用を推進していきたいと考えています。

今年度の県博物館でのDXとして進めている事業の一つに「リモート授業」があります。学習指導要領では、社会科や理科で「博物館の積極的な活用」が求められています。しかしながら、学校の近隣に適切な博物館施設がない場合が多く、最近ではコロナ対策ということで社会見学自体を取りやめる学校もあります。そのような状況の中で、インターネットを活用して、教室と博物館を結んで授業をしているという取り組みです。

この写真が、実際に授業を行っている様子です。この例では、小学校6年生の理科「大地のつくり」の単元の学習で、Zoomというアプリを用いて双方向にやり取りをしながら、授業を行いました。また博物館の展示物を実際に見ながら、解説員の「恐竜の話」という解説を活用して、授業を仕組みました。

実際に博物館とつないで質問を受け付けながら進める授業には、録画された動画を見ることとは違った臨場感があり、博物館の物的・人的資産を有効に



活用できたように思います。

このような取り組みが「今度は実際に行ってみたい」と考える児童生徒の増加につながることを願っています。

友の会事務局からのお知らせ

★令和3年度後期友の会の主な活動について

○秋季理事会の報告

秋季理事会が10月14日(木)に開催され、①令和3年度会務中間報告、②一般会計・特別会計中間報告、③後期の会務について承認されました。

また、特別行事「七草がゆを食べよう」については、新型コロナウイルス感染第6波の恐れと飲食を伴う行事であることを鑑み中止としました。恒例の宿泊探訪の旅についても中止としました。

○会長・副会長会議 3月12日(土)

★会報について

会員の声が伝わり、会員相互で作り上げる会報に高めていくため皆さまからの原稿をお待ちしています。今号では2本の寄稿をいただきました。次号でも原稿募集します。ぜひご応募ください。

★会員数のさらなる拡大について

多くの方に博物館をご利用をいただき、博物館を応援し盛り上げあげていければと思います。会員証提示で無料観覧ができるなどメリットもあります。ご友人お知り合いにご紹介いただければと思います。

★ミュージアムショップについて

会員のみなさまは図録・グッズ等を会員価格(1割引)でご購入いただけます(一部例外あり)。ぜひご利用ください。なお、ミュージアムショップについてご意見ご提案があればお声をお寄せください。

★博物館展覧会・催事の変更について

博物館の最新情報はホームページ、ツイッターまたはお電話でご確認ください。

協賛企業

Sumitomo Edge

岐阜県博物館 学芸部 小島 剛太

スズキ安全剃刀株式会社

岐阜県博物館 学芸部 小島 剛太

協賛企業

Kyodo

岐阜県博物館 学芸部 小島 剛太

協同印刷株式会社

岐阜県博物館 学芸部 小島 剛太

www.kyodoprint.co.jp